

2  
(月)

おう どれい  
王のような奴隷

創39章1~6節 主人はヨセフの手に全財産を任せ、自分が食べる食物のことは、何も気を使わなかった。しかもヨセフは体格も良く、顔立ちも美しかった。(6)

神様は、世界福音化の計画の中に Remnant を呼ばれました。まず先に、神様がくださった祝福を祈ることによって、私の中にやぐらを作れば良いのです。神様の計画を見た Remnant は、何をしましたでしょうか。

1つ目、ヨセフは神様とともにいました。ファラオの夢を解き明かしたときも、神様が知らせてくださると言いました。そのとき、インマヌエルの答えを受けました。ポティファルの家に奴隷として行ったことも、くやしい目にあったことも、そのことが出世の道、成功の道になりました。これがワンネスの答えです。2つ目、モーセは「わたしの民を連れて血のいけにえを献げに行きなさい」と言われた神様のみことばを理解しました。血のいけにえを献げた日、すべての問題が終わってイスラエル民族は出エジプトしました。モーセは幕屋と契約の箱が中心でした。そして、救いと力、御座の奥義の意味が入っている三つの祭りが中心でした。3つ目、神様の契約が成り立つように助けた人々がいます。ヨセフの契約を心にとどめたヤコブ、モーセに契約を伝えて婿としたイテロ、ヨシュアとカレブがカナンの地に入れるように助けたラハブです。その人々は、世界福音化が重要な神様の契約であることを分かったのです。

祈りのやぐらの中で世界福音化の契約を心の中に刻みましよう。

神様、世界福音化の契約の中で、神様が呼ばれた理由を知ることができますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

3  
(火)

ちやうのうりよくしや  
超能力者

ロマ 16章25~27節 私私の福音、すなわち、イエス・キリストを伝える宣教によって、また、世々にわたって隠されていた奥義の啓示によって——永遠の神の命令にしたがい、預言者たちの書を通して今や明らかにされ、すべての異邦人に信仰の従順をもたらすために知らされた奥義の啓示によって、あなたがたを強くすることができる方、(25-26)

Remnant は神様が与えてくださった力を持って祈りましよう。すると、私の中に三位一体の神様の働きと御座がやぐらとして建ちます。この祈りが生活になれば\*超能力者になり、想像を超える力が現れます。この力を持ったバビロンの Remnant に、どんなことが起こったのでしょうか。

1つ目、神様が与えてくださった契約が成就しました。神様はイザヤに救いのメッセージ「インマヌエル」の契約を与え、成就されました。イザヤ書を通じて与えられたバビロンに向けた契約は、すべて成就しました。2つ目、バビロンで契約を成就された方法は証人です。イザヤを通して語られた契約によってダニエルは心を定めました。(ダニ 1:8-9)このとき、ダニエルは獅子の穴に入られても死なずに生きて、神様の生きておられることを証明する証人になりました。エステルはユダヤ人がすべて殺されることになったとき、神様が自分を王宮に入るようにされた契約を知って、ユダヤ人を生かしました。これがほかの国にも証拠になりました。3つ目、\*再建運動が起きました。ダビデは神殿を建てました。このように神殿を建てるのが Remnant の使命で祝福です。

Remnant は祈りのやぐらを立てる挑戦をましよう。

神様、祈りのやぐらを立てて、神様からの超能力を受けて、神様の契約成就を見ますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

## 4

(水)

## 絶対やぐら運動

ローマ 16章 25~27節 私わたしの福音ふくいん、すなわち、イエス・キリストつたを伝える宣教せんきょうによって、また、世々よよにわたって隠かくされていた奥義おくぎの啓示けいじによって——永遠えいえんの神かみの命令めいれいにしたがい、預言者よげんしゃたちの書しよを通して今いまや明らかにされ、すべての異邦人いほうじんに信仰しんこうの従順じゆうじゆんをもたらすために知らされた奥義おくぎの啓示けいじによって、あなたがたを強くすることができる方かた、(25-26)

全世界ぜんせかいは霊的問題れいてきもんだいによって病んでいて、精神病せいしんびょうが増えています。それゆえ、Remnantは全世界ぜんせかいを癒やして、絶対やぐら運動ぜったい うんどうをしましょう。神様が与えてくださった霊的な祝福れいてき しゆくふくを持って、やぐらを私わたしの中に先に建てれば良いのです。パウロは、単なる伝道をしたのではなく、絶対やぐらを建てました。絶対やぐらは4つになるように建てれば良いのです。

1つ目、残りの者となるように建てましょう。残りの者は、キリストがなければ死ぬというキリストの\*当為性とういせいと礼拝らいはい、祈りの力ちからを確認して持ちます。そして、神の国の奥義おくぎを持って伝えます。2つ目、残る者となるように建てましょう。70年にイスラエルが滅びたのですが、その中で契約けいやくを持って残る者がいました。残る者は力ちからが必要です。3つ目、残れる者となるように建てましょう。残れる者は歴史れきしの中なかにあった二度の\*世界大戦せかいたいせんの中なかでも、完全に福音ふくいんと文化ぶんかを回復かいふくした人々ひとびとのことを言います。4つ目、残す者となるように建てましょう。これからは完全に霊的問題れいてきもんだいがいっぱいになる時代じだいが来ます。これを解決する者を、残す者と言います。

Remnantは自分自身じぶんじしんに先に祈りのやぐらを建てましょう。すると、現場げんばの中で絶対やぐらとして残りの者のこもの、残る者のこもの、残れる者のこもの、残す者のこものを建てて行くことができますでしょう。

\*当為性：当然そのようにしたり、そうならなければならないことを意味します。

\*世界大戦：世界の多くの国が参加した大規模の戦争のことです。

神様、絶対やぐらを建てる Remnant として祈り始めますように。生きておられるイエス・キリストの御名みなによってお祈りします。アーメン

2023. 12. 06. 中南米伝道集会(パナマ) 3講

## 5

(木)

## すべての人はキリストが必要です

ローマ 3章 23節 すべての人ひとは罪つみをおかして、神かみの栄光えいこうを受けることができません、

すべての人が罪つみをおかして神かみ様の栄光えいこうを受けることができなくなりました。ですから、世の中には義人ぎじんは一人もいません。そのため、すべての人とすべての国にはキリストひつようが必要です。Remnantはこのキリストしを知って伝えましょう。

1つ目、Remnantは、だれも知らない理由りゆうを知っています。イスラエルの民たみは、奴隷どれい、捕虜ほりよ、属国ぞくこくになったのですが、その理由りゆうを知りませんでした。しかし、Remnantは、ただ福音ふくいんの答えを持って、ほかの国に散らされた理由りゆうを知っていました。それゆえ、時代じだいを変えることができたのです。2つ目、Remnantは、だれも教えてくれない生活を送るためです。世の中の人々よなかは、何なにの誤りごちもなく、原因げんいんも分からないのろいのろいの中で生きています。神様を離れた原罪げんざいのゆえです。この人々ひとびとにのろいのろいの中で生きるしかない理由りゆうと答えを教おしえてあげましょう。3つ目、パウロは神の国の奥義おくぎを知っていました。そして、私わたしたちの国籍こくせきは世の中よなかではなく、天てんにあることも知っていました。それゆえ、人々ひとびとに大胆だいたんに福音ふくいんを伝えることができました。世の中の人々よなかは、知らないので言うことはできないのです。

霊的問題れいてきもんだいはただ福音ふくいんによってだけ止めることができます。この事実じじつを知って、のろいの中のろいにいる人々ひとびとに、福音ふくいんの答えを伝える答えこたえを受けましょう。

神様、福音ふくいんの奥義おくぎを知って、福音ふくいんを人々ひとびとに伝える答えこたえを受けますように。イエス・キリストの御名みなによってお祈りします。アーメン

2024. 04. 14. 2部

# Remnant があらかじめ見た宣教

**使 19 章 1~21 節** これらのことがあった後、パウロは御霊に示され、マケドニアとアカイアを<sup>とお</sup>ってエルサレムに行くことにした。そして、「私はそこに行くてから、ローマも見なければならぬ」と言った。(21)

ヨセフは幼い時から夢に出てくるほど世界福音化の契約を持っていました。これが、Remnant があらかじめ見た宣教です。Remnant は、宣教のために準備することが三つあります。

1つ目、幼い時に\*やぐらを先に作りましょう。朝早く起きて、サミット祈りを味わいましょう。夜には、私の学業が作品になる深い祈りをしましょう。昼には、すべてを受け入れて\*超越する祈りをしましょう。2つ目、世の中に出て行く前に、先に受ける答えがあります。Remnant は、世の中を生かす契約と、わがわいの現場を生かすビジョンと夢をあらかじめ持って行きましょう。すると、神のかたちを味わって、神様が願われる作品を作ることができます。\*御座のやぐらと旅程、道しるべを味わう霊的サミットに先になって、世の中に出て行きましょう。3つ目、サミットの準備をしましょう。Remnant は、必ず答えを受けるので、祈るサミットタイムを持ちましょう。そして、現実の裏にある神様の計画を発見するサミット姿勢を備えましょう。今直ちに答えがなく、良くない環境の中にいるとしても、それに勝てば大きなサミットの器になります。

Remnant は聖書の Remnant があらかじめ見た宣教を考えて、私の宣教を描きましょう。

- \*やぐら-見張りをするために建てた高い塔のことです
- \*超越-どんな限界や一般的なことがあっても、跳び越えることを言います。
- \*御座-王が座る席、すなわち、目に見えないように万物を治めておられる神様の統治を意味します。

神様、世界福音化の契約を持って祈るサミットとして立ちますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

# 教会が新しく見るべき宣教

**使 1 章 8 節** しかし、聖霊があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらに地の果てまで、わたしの証人となります。

祈りを知っている人が\*ワンネスになるとき、神様の力が現れ始めます。初代教会の人々が集まって祈ったとき、ローマと世界が変わりました。その理由は何だったのでしょうか。

1つ目、宣教システムを備えていました。その人々は、キリストから与えられた契約(7・7・7)を持って一緒に集まりました。朝と昼、夜に神様の力を味わう祈りに集中しました。すると、どんな問題も解決できるようになります。これが初代教会の絶対やぐらで宣教システムです。2つ目、宣教システムが備えられていれば、集まるときにワンネスが起こります。教会に子どもたちと異邦人が生かされる庭、人々が生かされる癒やしの庭が成し遂げられます。答えを受けた人々が金土日に教会に集まって、ワンネスを成し遂げます。そして、237 か国と5千種族を癒やしてサミットとなるようにする人々がワンネスを成し遂げます。3つ目、神様が成し遂げられる未来を知っていました。この人々は、世々にわたって隠されていたのが、今や明らかになって、とこしえまであることを味わうワンネスを成し遂げました。それゆえ、世界福音化されるしかありませんでした。

Remnant も初代教会が受けた世界福音化の答えを受けましょう。まず神様の御座の力が臨むように祈りに挑戦しましょう。

- \*ワンネス(Oneness) -共同体が一緒に集まって一つの目標を持つことを言います。おたがいに力を合わせて、共通の目標に向かって進むことです。
- \*庭-広場、または、庭園という意味を持っているこの単語は、神殿や宮殿などにいっしょに使われました。

神様、荒野にだまされしないで、神様が与えてくださるみことばを持って荒野を征服しますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン